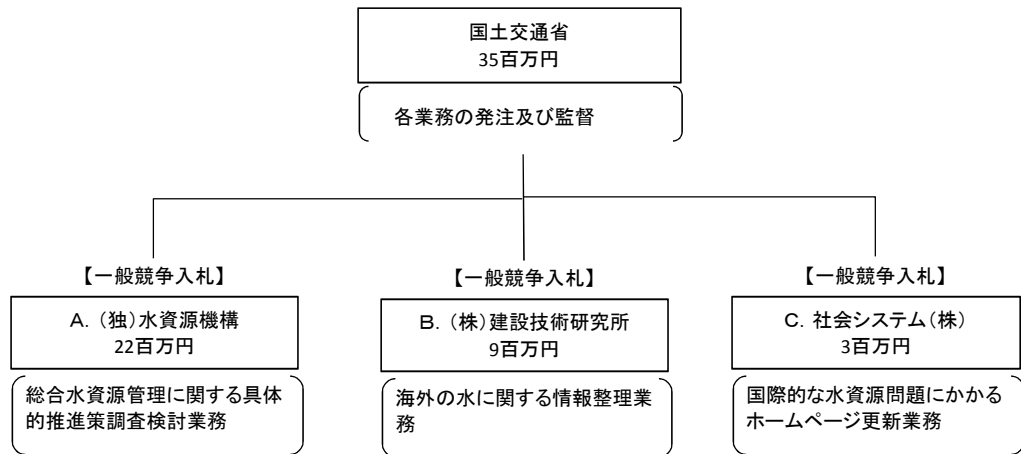


平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	世界的水資源問題を踏まえた我が国の対応方策検討調査経費		<b>担当部局庁</b>	水管理・国土保全局水資源部		<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	昭和60年度～		<b>担当課室</b>	水資源計画課		課長 海野 修司			
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>政策・施策名</b>	2 良好な生活環境、自然環境の形成、バリアフリー社会の実現 6 水資源の確保、水源地域活性化等を推進する					
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3程度以内)</b>	水は代替のない貴重な資源であり、世界の水危機は、食料等を通じて膨大な水を依存している日本にとって安全保障に直結する課題である。そのため、我が国の世界の水資源問題に対する支援のあり方を検討し、世界の水問題解決に貢献し、またこれとあわせて、新成長戦略における、官民連携した国際展開を推進することを目的としている。								
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	・世界の水問題解決や我が国の国際展開に向け、国際会議を通じた情報発信及び情報収集を行った。 ・アジアの水問題解決や我が国の国際展開に向け、ワークショップ等を通じた具体的な政策対話や、アジアにおける総合水資源管理(IWRM)の推進に関する検討調査を行った。								
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	43	51	46	34	44		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-	-		
	計		43	51	46	34	44		
	執行額		34	45	41	-	-		
執行率(%)		77%	88%	89%	-	-			
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果目標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	官民連携した国際展開に関しては、活動が成果として結実するまでに時間がかかるため、期間内の成果を図ることが困難			成果実績					
				達成度	%				
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	世界的な水問題に対応するための国際会議等の開催及び参加件数			活動実績 (当初見込み)	件	12 (12)	14 (13)	15 (14)	- (10)
<b>単位当たりコスト</b>	国際会議等の開催及び参加に要する1件あたりの経費 0.4百万円(0.399百万円/件)			算出根拠	職員旅費5.983百万円(職員旅費決算額)÷15件=0.399百万円				
平成25・26年度予算内訳	<b>費目</b>	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	職員旅費	8	10	日本の水に関する地域への外国人観光客誘致促進のため、世界水フォーラムなどの国際会議を活用した情報発信手法などの戦略検討調査の追加による増 「新しい日本のための優先課題推進枠」10					
	水資源対策調査費	26	34						
計	34	44							

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	世界の水資源問題に対する我が国の支援のあり方を検討し、世界の水問題解決に貢献するとともに、官民連携した国際展開を推進するため、国として情報の発信、政府間対話を行っていくことが必要である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	契約手続きについては、競争性の高い(総合評価落札方式)により相手方を決定している。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	世界的水資源問題の解決及びわが国の経験・技術を活かした水インフラの国際展開を図るべく、水に関する国際会議等に参加し、情報を発信するとともに、政府間対話等を行っている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	業務発注については、より競争性を高めた契約手続き(総合評価方式)を採用することにより、効率的・効果的に競争性を確保した予算執行を図った。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	我が国の水ビジネスの国際展開について実効性のあるプランを提示できるよう関係機関との連携等を図る。また、一者応札の改善に努めるなど予算の効率的な執行に努める。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	世界的水資源問題解決への貢献及び水ビジネスの国際展開について実効性のあるプランを提示できるよう、関係省庁連絡会の開催を通じて連携するとともに、国際会議の一層の活用を図る。また、一者応札の改善のため、十分な公示期間の確保等により効率的に予算執行する。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	136	平成23年	190	平成24年	204



**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)

**費目・用途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と用途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(独)水資源機構			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
水資源対策調査費	総合水資源管理に関する具体的推進策調査検討業務	22			
計		22	計		0
B.(株)建設技術研究所			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
水資源対策調査費	海外の水に関する情報整理業務	9			
計		9	計		0
C.社会システム(株)			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
水資源対策調査費	国際的な水資源問題にかかるホームページ更新業務	3			
計		3	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)水資源機構	総合水資源管理に関する具体的推進策調査検討業務	22	1	91.6
2	-				
3	-				
4	-				
5	-				
6	-				
7	-				
8	-				
9	-				
10	-				

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)建設技術研究所	海外の水に関する情報整理業務	9	1	83.5
2	-				
3	-				
4	-				
5	-				
6	-				
7	-				
8	-				
9	-				
10	-				

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社会システム(株)	国際的な水資源問題に関するホームページ更新業務	3	1	75.2
2	-				
3	-				
4	-				
5	-				
6	-				
7	-				
8	-				
9	-				
10	-				